奈良工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2	2017年度)	授業科目	英文読解 I			
科目基礎情報									
科目番号	0024 科目区分 一般 / 必修								
授業形態	講義			単位の種別と単位数	数 履修単位	履修単位: 2			
開設学科	機械工学科			対象学年	2	2			
開設期	通年			週時間数	2	2			
教科書/教材	総合英語Forest Extensive English Grammar in 47 Lessons 7th Edition (桐原書店)								
担当教員	当教員 金澤 直志								
지나는 그 분									

|到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

準学士課程(本科1~5年)学習教育目標 (3)

教育方法等

概要	英語Iで学習した文法の理解をより深め、正確な英語の2技能(読み・書き)の習得を目指す。文法を単元別に学習する ことにより、各単元の知識を深め、将来必要とされる文法分析力、英語表現力の育成を図る。英語IIと連携をとりながら 、総合的な英語力を高める。
授業の進め方・方法	既習の文法単元をより深く理解するために、まずは確認テストでどの程度文法力が備わっているかを各自で把握した上で、授業に臨んでもらう。理解できていない点を明らかにするべく授業に参加し、その学習内容の定着を図るために小テストを実施する。
注意点	関連科目 英語I 英語II 学習指針 司達日標を達成するためにも、将業の予翌復翌は必ず行い、積極的に英語学習に聴むこと

学修単位の履修上の注意

授業計画

1XXIII								
		週	授業内容	週ごとの到達目標				
		1週	第1章	文の種類を理解し、正しく運用することができる。				
		2週	第2、3章	文型を理解し、正しく運用することができる。				
		3週	第4章	現在形、現在進行形、過去形、過去進行形、未来形、 未来進行形を理解し、正しく運用することができる。				
		4週	第5章	現在形、現在進行形、過去形、過去進行形、未来形、 未来進行形を理解し、正しく運用することができる。				
	1stQ	5週	第6章	現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了 進行形、未来完了形を理解し、正しく運用することが できる。				
		6週	第7章	現在完了形、現在完了進行形、過去完了形、過去完了 進行形、未来完了形を理解し、正しく運用することが できる。				
		7週	前期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答する ことができる。				
前期		8週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。				
HUMA	2ndQ	9週	第8、9章	助動詞や助動詞を含む慣用表現を理解し、正しく運用 することができる。				
		10週	第10章	助動詞や助動詞を含む慣用表現を理解し、正しく運用 することができる。				
		11週	第11章	態や態を含む慣用表現を理解し、正しく運用することができる。				
		12週	第12章	態や態を含む慣用表現を理解し、正しく運用することができる。				
		13週	第13、14章	不定詞や不定詞を含む慣用表現を理解し、正しく運用 することができる。				
		14週	第15、16章	不定詞や不定詞を含む慣用表現を理解し、正しく運用 することができる。				
		15週	前期末試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答する ことができる。				
		16週	試験返却・解答・復習	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。				
後期	340	1週	第17章	動名詞や動名詞を含む慣用表現を理解し、正しく運用することができる。				
1女州	3rdQ	2週	第18章	動名詞や動名詞を含む慣用表現を理解し、正しく運用することができる。				

5回			0.15	,	77.10				Λ=2± παπ. —		1 1 2 -		
5回 第24、25章 関係性の知识 解剖別。 都合体例和を整定し、正しての													
6両 報名6、27厘 対抗の関係である。									関係代名詞、関係副詞、複合関係詞を理解し、正しく				
日本			6週	<u>l</u>	第26	、27章	77音		関係代名詞、関係副詞、複合関係詞を理解し、正しく				
19週 試験返射・報音・後習 対数回数を見回し、理解がオークな点を整理する。			7週]	後期口	期中間試験			授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答する ことができる。				
### 10日 第29章 第29章 9年 15日			8追]	試験》	返却・解答・復	習						
10回 第29章 第29章 第29章 第25之的できる。			9週]	第28章		仮定法と仮定法を含む慣用表				現を理解し	」、正しく運	
### ### ### ### ### ### ### ### #### ####			10)		第29章				仮定法と仮定法を含む慣用表現を理解し、正しく運用				
### 4						·			仮定法と仮定法を含む慣用表現を理解し、正しく通				
13週	4	thQ	12				話法を理解し、正しく運用す						
149日 第47章 技統設定列・(公室用することができる。) 15月		•				•							
15週 学年末試験 授業内容・理解し、試験問題に対して正しく解答する。 注談担当・解答・復習 試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。 注談担当・解答・復習 試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。 対野 学習内容 学習内容の可達目標 学習内容 学習内容の可達目標 学習内容 学型内容の可達目標 学型内容 学型上、													
16週 試験返却・解答・復習			15	:囯					授業内容を理解し、試験問題				
									ことができる。				
									試験問題を見直し	、埋解かか	十分な点を	を解消する。	
		アカリ	干ユ		字習			=			7111±1 - "	11 125 MK / E	
英語の標準的な発音を聴き、音を機動しながら発声できる。 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	分類			分野					<u>~</u> ± ⋜			ル 授業週	
英語の発音記号を見て、発音できる。						I +							
リエソンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。 3						I +				` ටං		_	
語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読すること 3						I F				,		_	
ができる。						I +							
英語連用能										もりること	3		
英語連用の							文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読する			音読する	3		
経度の語彙を新たに習得する。 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1						I +					3		
基礎となる 知識						l					2		
中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。 3 前1,前3.前 4 前1,前3.前 4 前1,前3.前 1,前3.前 1,前3						基礎となる	程度の語彙を新たに習得する。						
(知識						4,前11, 13,後1,	
Public	基礎的能力	人文· 科学	・社会	英語				見領に示されてい	いるレベルの文法事 項	質や構文を	3	前2,前5 6,前9,前 10,前12 14,後2, 4,後5,後 6,後9,後 10,後11	
日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3							りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで			ではっき ることがで	3		
英語運用能力の基礎的め力の基礎的能力の基礎的3大師評価割合200000経済評価割合600000020財的能力00000020財政的能力00000000東京の場立とができる。0000000東京の場立とよりのある文章を英語で書くことができる。3100話程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。3毎知以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。3毎分120話程度の速度で取るなどを読み、その概要を把握できる。3毎分120話程度の適単な文章を書くことができる。3中価割合試験発表相互評価態度ポートフォリオその他合計合の000000日間的能力000000日間的能力0000000							日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表				3		
大語連用能 力の基礎固め											3		
100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 3											3		
中国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。 毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。 自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。 毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を表地握できる。 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、33中価割合試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 合評価割合 60 0 0 0 0 40 100 日 0 0 0 0 0 0 60 日 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 60 日 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。				3		
握できる。						ø .	母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場				3		
F価割合											3		
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本							自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことが				3		
把握できる。 把握できる。 3 自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。 3 評価割合 試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 合計 合計 合計 合う の の の の の の の の の の の の の の の の の の							毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を						
評価割合 対象 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 合評価割合 60 0 0 0 40 100 砂能力 60 0 0 0 0 60 評的能力 0 0 0 0 20 20											3		
試験 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ その他 合計 合評価割合 60 0 0 0 40 100 疑的能力 60 0 0 0 0 0 60 評的能力 0 0 0 0 20 20										こついて、	3		
会評価割合 60 0 0 0 40 100 疑的能力 60 0 0 0 0 0 60 評的能力 0 0 0 0 20 20	評価割合												
E礎的能力 60 0 0 0 0 0 60 評的能力 0 0 0 0 20 20		Ē	式験		発	表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	É	計	
門的能力 0 0 0 0 0 20 20	総合評価割合	<u>}</u>	50		0	· · ·	0	0	0	40	1	.00	
	基礎的能力	ϵ	50		0		0	0	0	0	ϵ	50	
野横断的能力 0 0 0 0 20 20	専門的能力 0		0			0	0	20	2	20			
	分野横断的能	t力 C)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				0	0	20	2	20	